

令和5年度 市川市立曾谷小学校 学校経営方針

学校教育目標

「ゆめ あすから」 チャレンジする子どもたち
～ みんなではぐくむ「曾谷っ子」～

- 合い言葉
- ・ゆめに向かって努力しよう
 - ・あいさつに心をこめよう（あいての目を見て）
 - ・すすんで学習しよう
 - ・からだをじょうぶにしよう

めざす児童像

—やさしい子・がんばる子・元気な子—

- 思いやりがあり、だれとでも仲良くできる子
- 自分から進んで学び、自分の考えをもつ子
- 安全に留意し、健康でたくましい体をもつ子

こんな教職員・学校でありたい

—信頼されるチーム「曾谷」—

- 一人一人の児童を理解し、多様性を尊重しながら、人権意識を持って、児童を大切にする教職員
- 業務改善を進めるとともに、それぞれのよさや専門性を生かしながら協働し、喜びや困難を共有する教職員
- 常に自己を見つめ、課題意識と向上心を持ち、研鑽に励む教職員（学び続ける教職員）

スローガン

- ◎やりがいのある
支えあう
組織で動く職場
- ◎不易流行

重点目標

個性を尊重し、児童自らが主体的に学び、生活する力を育成する。

「自分から進んで学ぶ子」

- ◎「わかる授業」
- ◎「認め合う学級（学校）」
- ◎「寄り添う生徒指導」

確かな学力

- ①「わかる授業」づくり
 - 生徒指導の機能を生かした学級経営・学習指導を基盤
 - ユニバーサル・デザインの視点を生かす
 - ICTの活用（タブレットの活用）
 - ふるさと探究科の充実
- ②少人数指導の充実
- ③学校図書館の活用
- ④家庭学習の習慣化
 - 「家庭学習のすすめ」、
「学習カレンダー」等の活用

豊かな心

- ①学級経営の充実
 - 互いに認め合う学級（所属感・自己有用感の育成）
- ②道徳科を要とした道徳教育の充実
 - 「考え・議論する」学習活動
 - 適切な評価
- ③教育相談体制の整備・充実
- ④縦割活動・異校種交流
 - なかよし活動
 - 保・幼・中・高・特支学校
- ⑤特別支援教育の充実

健やかな体

- ヘルシースクール推進校
- ①基本的な生活習慣の確立
 - 家庭との連携
 - ②食に関する指導の充実
 - 食生活の改善
 - ③体力向上
 - 体育や外遊びの充実・奨励
 - ④安全安心な学校
 - 登下校指導
 - 避難訓練の工夫・充実
 - 危機回避・察知能力の育成

<「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善>

- 興味関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、学習を振り返って次につなげる。
- 子ども同士の協働、教職員や地域の方との対話、先人の考え方を手掛かりに自己の考えを広げ、深める。
- 問題解決過程を通じて、思考・判断・表現し、教科の特質に応じた「見方・考え方」を深める。

地域とともに歩む学校づくり

- コミュニティ・スクールの推進
- 東国分爽風学園（職員間・児童生徒の交流）
- 学校評価（自己評価・学校関係者評価）による学校経営改善の推進
- 積極的な情報発信と学校公開による開かれた学校